

3-3 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

横張り

釘打ち施工
(木胴縁下地)

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で横に組みます。
- C形鋼と直交させるように500mm以下の間隔で厚み33mm以上の木胴縁を入れ、ビスでC形鋼に留め付けます。(胴縁留付ビス:ステンレススネジφ5mm以上×60mm以上)
- 縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- C形鋼の下地組みにビスでモエンを直張りする施工は、絶対に行わないでください。
- 出隅部、入隅部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、木胴縁が留め付けられるようにします。

※準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。

